

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		合志市生活研究グループ活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	可徳 精至
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	上山 直美
	基本事業	32	関係機関との連携の強化			所属班	農業振興班	(内線)	1165
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	8
		1	6	1	5	10298		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市生活研究グループ活動支援(・中学校等へ伝承料理の実習・先進地研修計画実施他)
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	生活研究グループは昭和30年ごろより県下で農村婦人の機能集団として芽生えたものであり、その活動は、保存食作りや、台所(カマド)の改善等が主なものであった。旧合志町は平成元年に結成され、合併により合志市生活研究グループと名称変更 新規会員の加入が少なく、会員の高齢化の現状がある
【業務の流れ】	・会の事務局(補助金申請事務、会費の徴収・負担金の支払い事務、事業に伴う会員への周知事務他) ・補助金支払い一連事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・合志市生活研究グループ事務局 ・補助金交付一連事務	平成21年度と同じ
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア:活動日数	日
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
合志市生活研究グループ	⇒ア:会員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
生活改善の知恵や技術を提供してもらう。	⇒ア:提供活動の割合 %
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 年間活動日数に対する意図の割合を設定し、活動の目安とする。 平成22年度目標設定根拠も同様	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 日		17	17	18	12	18	18	18
⑤ 対象指標	ア 人		21	17	18	19	20	20	20
⑥ 成果指標	ア %		未把握	18.2	15	0	20	20	20
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	170	174	179	179	185	174
	(A) 事業費計	千円	170	174	179	179	185	174	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	8	3	3
延べ業務時間		時間	304	304	304	308	304	304	
(B)人件費計		千円	1,207	1,216	1,210	1,226	1,210	1,210	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,377	1,390	1,389	1,405	1,395	1,384	0

総トータルコスト	全体計画	~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)		
		0
		0
		0

事務事業名	合志市生活研究グループ活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

有効性については、調理実習実施校が増えれば、グループ活動の成果を向上させる余地はある。
 効率性については、活動状況により補助金の削減の余地がある。
 役割分担については、会員が高齢なため、新会員の加入等があれば将来的には事務局(事務・会計)を会員への移行は考えられる。、

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

有効性については、調理実習実施校が増えれば、グループ活動の成果を向上させる余地はある。
 効率性については、活動状況により補助金の削減の余地がある。
 役割分担については、会員が高齢なため、新会員の加入等があれば将来的には事務局(事務・会計)を会員への移行は考えられる。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策